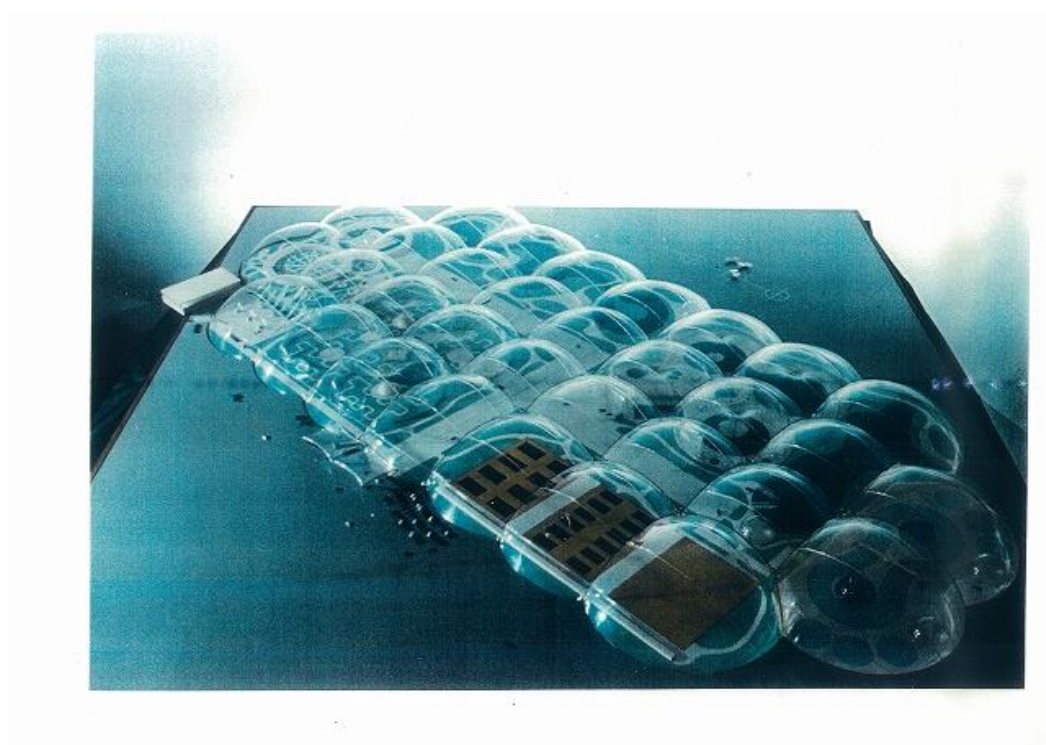

エピローグ． 2027 年の日本

復興を果たした日本と世界



アクアポリス

再生、共生、循環形社会の形成

東北大震災の教訓を経て、われわれは津波に打ち勝つ防波堤も重要ですが、風に柳、うまく自然を利用するすべを見つけたようです。

エネルギーの問題、そしてそのエネルギーの使いすぎからくる環境汚染と地球温暖化、そしてその地球温暖化の末にさらなる環境変化が起こり、ますます負のスパイラルに入ろうとしていた中を、不幸な事ではありましたが、東北大震災が襲いました。

東北大震災はない方がいいに越したことはありませんし、あってよかったということではありません。がしかし、日本人だけでなく、世界中の価値観を一変させました。エネルギー問題では、原子量のあり方を、社会では人間は共存共栄している生き物だということなど、我々は東北大震災を経て、それらを文化として進化させなければ、子孫の繁栄はないと考えるようになりました。

むろんこれらのこと、地球上の各々の場所と人々で、常々考えていることではありましたが、ごく限られた識者であったり、大きな社会政治的な動きになることはありませんでした。

そこにこの東北大震災が起こり、2万数千人の尊い命こそ奪われましたが、

自然の脅威、人間の文明の愚かさ、文化の進化の重要性を、世界中に教え、自分自身も、180度考えが変わったくらいの出来事でした。

人間は自然を利用し、利用すればそれを壊すことによって、生きています。しかし、再生ということを覚えた今、壊した自然を再び再生さえすれば、自然と共生できることを、具体的に成し遂げることができました。自然との循環型社会の形成です。

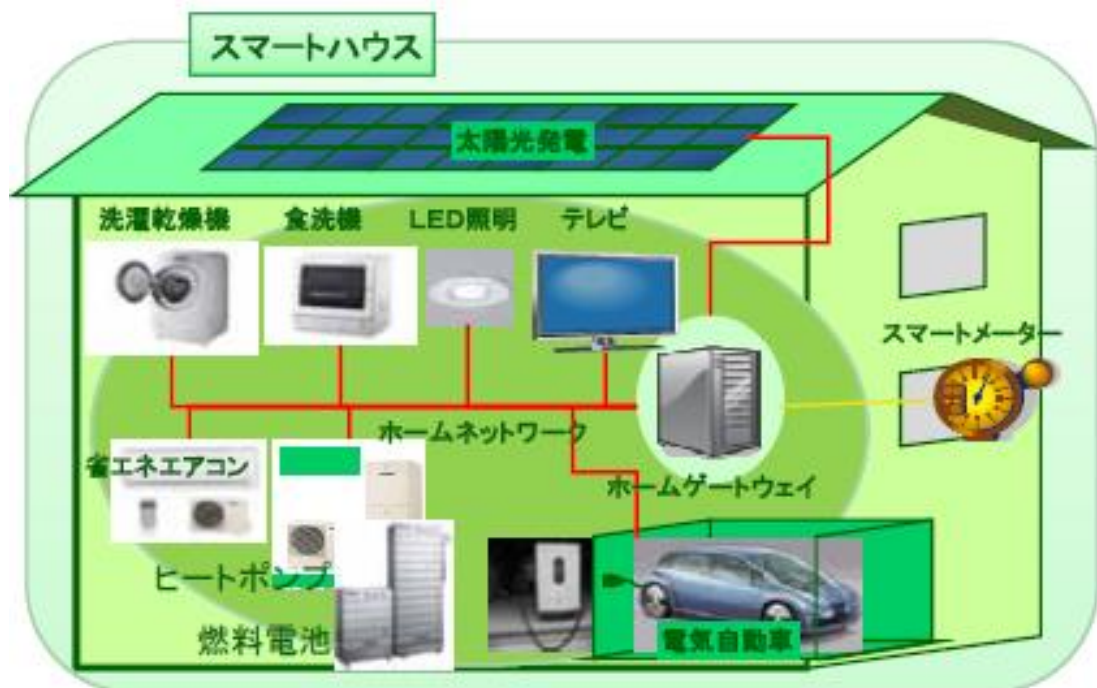
また東北大震災は人の文化についても大きな教訓を世界に発信しました。日本人の心です。社会の中で人は協力して生きていかななくてはならない、人の知恵を独り占めするのではなく、わけあたえつつ、全体で生長する素晴らしさを、改めて教えてくれました。

そんな2025年、大石次郎は郷里の愛知県豊田市のスマートコミュニティから、息子と二人で電気自動車に乗り、東北までやってきたのでした。

スマートコミュニティ

エネルギーを始め、資源の自己循環型の住まいは、日本ではスマートコミュニ

ニティという形で始まっています。自分の郷里でもある愛知県豊田市はトヨタ自動車があり、クルマの街として世界的にも有名ですが、ここで国土交通省のスマートコミュニティ指定都市として実証実験が始まりました。



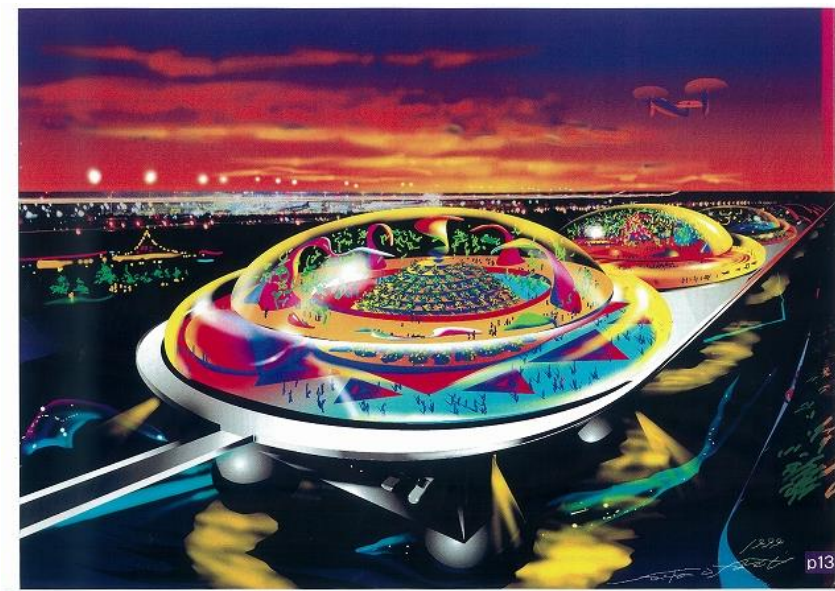
スマートとは、ずばり頭の良いということですが、深夜電力を使い充電し、それを電力の良く使用する時に再利用します。また電気のコントロールをコンピュータによって効率よく行います。

われわれはこのコミュニティのなかに、向こう三軒両隣的に、水耕栽培プラントや小型の植物工場を建設し、店産店消、自産自消のスマートグリッド、スマートハウスを提案して行きたいと考えています。

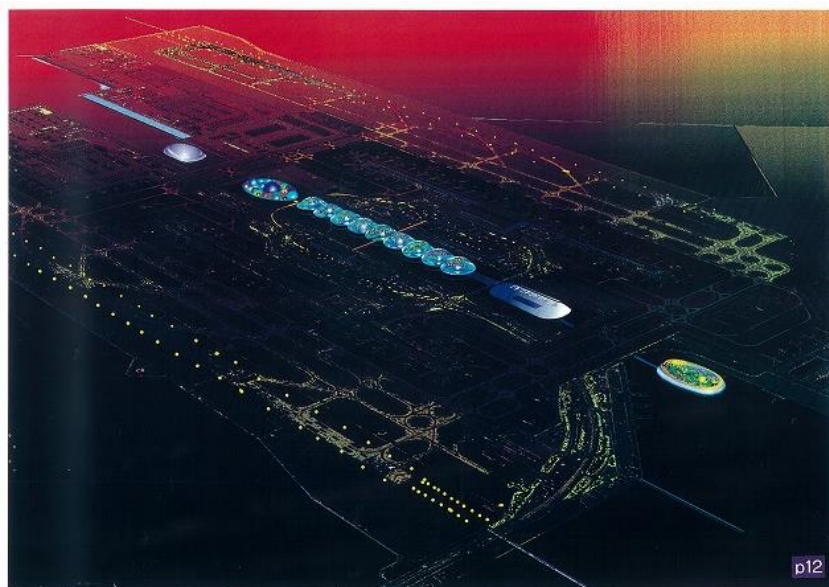
これにより全体を社会が見守り、個々には自己責任型の循環モデルが完成します。

アクアポリス

東北沖には、サウジアラビアに収めたと同じような、海水の淡水化及び地下温度活用エアードーム型大規模植物工場が、その雄姿を見せていました。



その海に隣接する大規模植物工場による淡水化と地球温暖化防止システムは、深夜電力を使い、効率よく植物を生産しています。



人々は一部は再び海に戻り、海の上で生活をしています。昼は太陽光を効果的に利用し、津波対策として低層型の津波九州建築となっています。まさに風邪に柳という建設工法です。水循環環境システムも備え、電気のように足りないときは、地上から水を運び、極力は、このコミュニティ内で、製造、循環使用しています。

ありがとう、世界の皆さまへ。



新日本人

東北関東大震災が日本を襲った直後、世界では別のニュースが駆け巡っていた。

- (1) 待避所の譲歩 うどん10食、50人が「お先にどうぞ」
- (2) 人のせいにしない 恨んだり抗議する姿はテレビで見られず
- (3) 災害で手を取り合う 議員ら政争中断、作業服着て現場へ
- (4) 落ち着き冷静 日本全域で略奪報告1件もない
- (5) 他人をまず考える 「自分が泣けばもっと大きな被害者に迷惑かかる」
- (6) 「お先にどうぞ」「いえ、まだ大丈夫です」
- (7) スーパーでは便秒値上げどころか、値下げ販売していた
- (8) 水を無料で配るコンビニも現れた

アメリカでの、米研究機関討論会の論評は次の通りでありました。この記事
を転載致します。

----- <転載>

日本人の対応礼賛「伝統文化に基づいた新日本誕生も」との指摘も 米研究機
関討論会

2011.3.24 18:27 (1/2 ページ)

【ワシントン＝古森義久】米国の大手研究機関 A E I（アメリカン・エンタープライズ・インスティテュート）は23日、東日本大震災が今後の日本社会や政治にどんな影響をもたらすかを論じる討論会「日本の悲劇＝危機から分岐点へ？」を開いた。討論会では米側専門家たちが日本国民の抑制された対応を礼賛する一方、菅直人首相が指導力を発揮できていないという考察を表明した。

討論会では A E I 日本研究部長で日本政治の専門家のマイケル・オースリン氏が「日本国民がこの歴史的な災禍に冷静さを保って対応したことは、米国内ではイデオロギー面でまったく異なるリベラル派のニューヨーク・タイムズ紙から保守派の F O X テレビの評論家まで一様に感嘆させた」と述べ、「**日本人がこうした状況下で米国でのように略奪や暴動を起こさず、相互に助け合うことは全世界でも少ない独特の国民性であり、社会の強固さだ**」と強調した。

オースリン部長は「この種の危機への対処には国家指導者が国民の団結をさらに強めることが好ましい」と指摘したうえで、「しかし、菅直人首相はその役割を果たしておらず、枝野幸男官房長官に代行させているようだ」と語った。

さらに「大震災直前には菅首相は違法献金問題で辞任寸前に追い込まれ、政治的麻痺（まひ）の状態にあったのだから、リーダーシップを発揮できないのも自然かもしれない」と付け加えた。

一方、日本の文化や社会を専門とするジョージタウン大学のケビン・ドーク教授は「日本国民 が自制や自己犠牲の精神で震災に対応した様子は広い意味での日本の文化を痛感させた。日本の文化や伝統も米軍の占領政策などによりかなり変えられたのではないかと思いがちだったが、文化の核の部分は決して変わらないのだと今回、思わされた」と述べた。

同教授はまた「近年の日本は若者の引きこもりなど、後ろ向きの傾向が表面に出ていたが、震災への対応で示された団結などは、本来の日本文化に基づいた新しい目的意識を持つ日本の登場さえ予測させる」とも論評した。

-----<転載>

決して大震災が起こり、それは全くもって不幸な出来事でありました。2万数千人もの人々の命が失われただけでなく、両親を失い震災孤児となってしまった子供たちの姿を見ると、涙すら出ない気持ちになります。

しかしながら、この大震災でのこの出来事が、このように世界を駆け巡りました。団結する文化とでも言うのでしょうか、協調する文化とでも言うのでしょうか、強いものが弱いものを助ける文化とでも言うのでしょうか？

先進国のアメリカでさえカトリナ台風一過では、略奪が相次ぎ、先進国、開発途上国に限らず、人間の持つ本来の姿を呈していると、誰もが感じていま

した。もちろん日本で、略奪が一件もなかったわけではなく、4,000 万円入りの金庫が流されたとか、金を探しにいろいろな人が浜辺をうろついているなどと、ニュースにも出たりしていました。

日本の集団教育といったものが、それを可能にする文化という言い方は簡単ですが、米研究機関討論会にあったように、「相互に助け合う全世界でも少ない独特の国民性」とか「日本文化に基づいた新しい目的意識を持つ日本の登場」という論評は、素直に日本人への賛辞ととらえて間違いないと思います。

新日本人の文化

人の知恵を奪い取り自分のものにするのではなく、知恵を分かち合う、文明という知恵の塊に、もう片方の知恵である文化がなかなか追いついていきません。文明という知恵を奪い合っていれば、それこそ軍拡競争のごとく、相手を信用しなくなり、誰も勝者のない世界になることでしょう。

大震災で原子力発電の問題も取りざたされています。知恵の文明の最たるものとして結晶化された原子力発電もまた、そのあり方の議論が全世界をめぐっています。経済を優先して、経済発展こそが幸せをもたらしてくれる、菜行革命以来、経済発展の合言葉に、世界は奔走してきました。

その結果は地球温暖化です。スティーブン・ホーキング博士曰く「地球温暖化がこのまま進めば人類は 1,000 年と種を存続させられない」。

今こそ、文明という怪物を本当に見つめ直し、戦争、地域紛争、地球温暖化の原因が、根底には文化という心の中にあるのだということを、改めて問い直さなければならないでしょう。

そしてこの大震災で世界中の人が知った、この新日本人の文化が、もしかしたら 21 世紀の地球人の心に伝わり、少しずつでもうねりになって、世界が変わっていったほしいものだと思います。



エピローグ

時は 2025 年、リニア新幹線も、ほぼ順調に工事が終了し、後、数か所の最終工事の後、東京-名古屋前線での試験運転が始まろうとしています。後、2 年後のことです。

大石次郎は息子の慎一郎を連れて、遠く向こうに宮島がかすんで見える、海沿いの高台に建っていました。東北大震災も、ほぼその傷跡はもはや目にするものがなく、各地の慰霊碑が、過去の大震災を物語っているだけです。

明治維新での開国と殖産興業、関東大震災、太平洋戦争の廃墟、東北大震災を経て、人間は自然に接する文明のあり方を何度も問い直し、新しい文化として進化させてきました。

新日本人の新日本文化が、東北大震災での世界中の人々の協力を経て、新世界文化として進化、成長してきたようです。

おやじ、リニアも開通したし、このアクアポリスなんて、リニアにも負けてないぜ

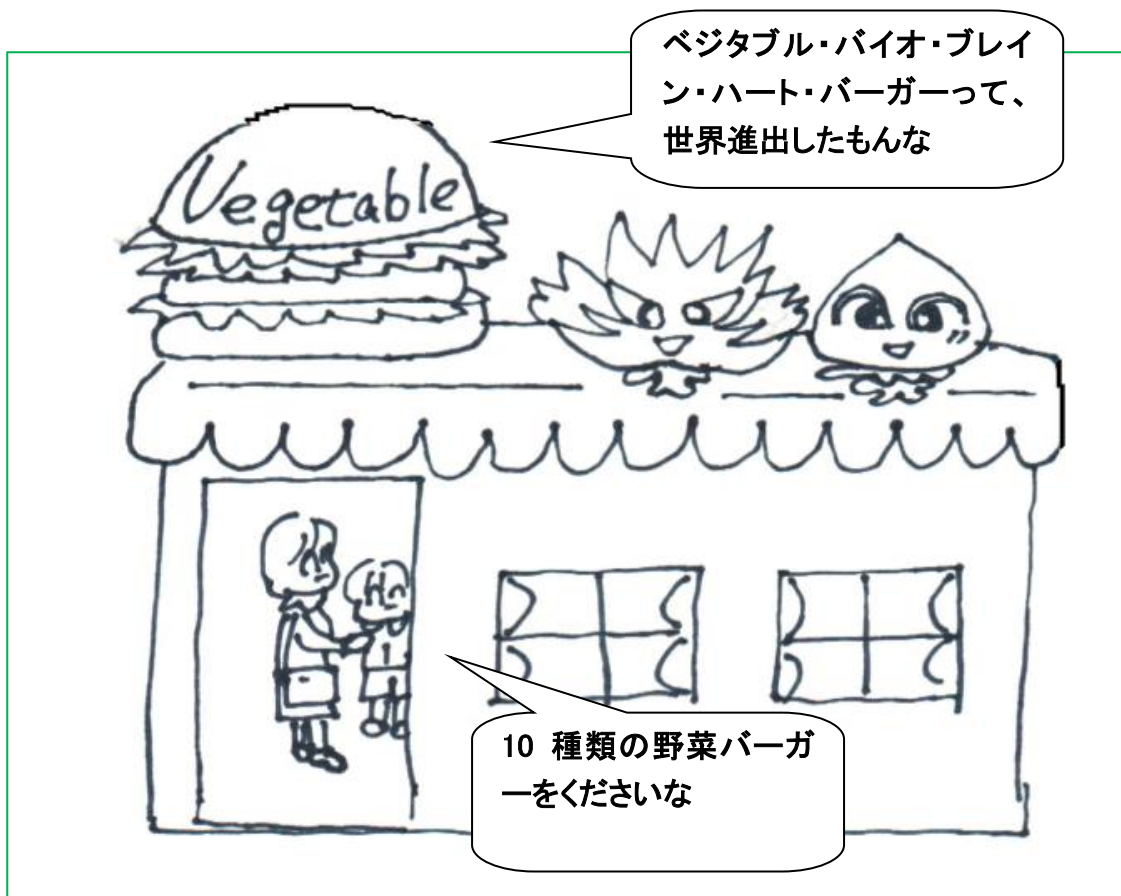
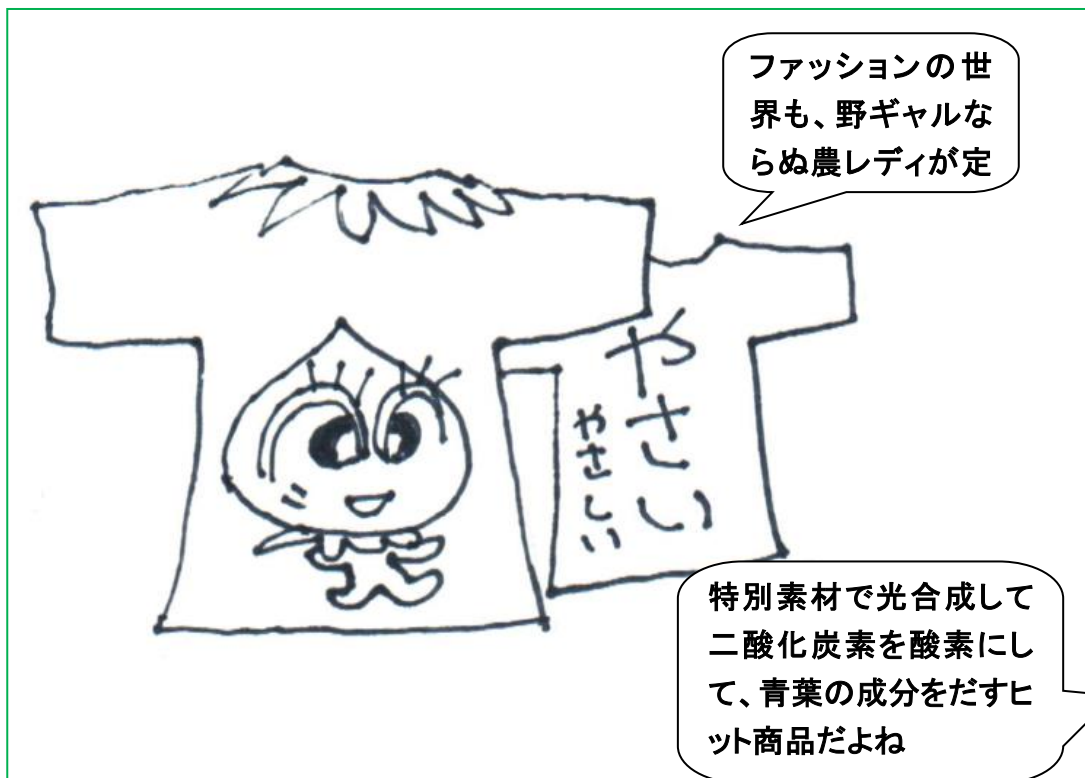


ああ、東北に 3 か所、アクアポリスができた。その一つを、我々がやったんだな……」

おやじはこれかあら、なにやるんだ？」



音楽やアートの世界に、戻るかな……？



あまり出番がなかったけど、楽しかったですよ

今度、私たちの国
‘キャロル’に遊び
に来てね



おいらも少しは役
に立ったかな？

ボクはサラリーマンだが、
いつか定年になったら、君
の仕事も手伝うよ

わたしも結婚する
ことになったワ



そしてがちゃは
G 式水耕研究所を設立
した



うん、わかったよ

みんな、パパのよ
うに一生懸命、
努力するのよ

めでたし、めでた
しネツ



あつ、まった」

....

ダメッ

まったダメ！